

今回のテーマ

医療保険について



今回は、非常に人気の高い医療保険について考えてみましょう。
 現在、生命保険会社等で色々なタイプが販売されておりますが、医療保険の基本的な内容はどうなっているのでしょうか？

*** 医療保険の中味！**

まず最初に、医療保険の基本的内容をしっかりと捉えておきましょう。
 それぞれの条件を整理すると概ね下表のようにまとめられます。

<外資系H生命保険会社の場合>

ポイント1：保障期間は？

歳満了	60歳まで、70歳まで、80歳まで など年齢で保障期間を決めます。
年満了	10年間、20年間 など年数で保障期間を決めます。一般に更新可能です。
終身	言葉のとおり、一生涯を保障します。

*保障の期間を長くするほど、保険料は高くなっていきます。

ポイント2：支払対象の入院は？

1泊2日型	病気・ケガともに2日以上入院で1日目から保障
5日型	病気・ケガともに5日以上入院で5日目から保障
8日型	病気入院8日以上で/ケガ入院5日以上でそれぞれ1日目から保障

*短期間からの支払条件とするほど、保険料は高くなっていきます。

ポイント3：支払限度は？

1回の入院支払限度	60日、120日、360日、700日、1,000日など
通算の入院支払限度	700日、730日、1,000日など

*支払限度を長期間にするほど、保険料は高くなっていきます。

ポイント4：入院1日当たりの保障額は？

1日当たりの保障額	3,000円～20,000円
-----------	----------------

*年齢や職業・収入等によって、加入できる保障額の上限が決まっております。

これらが組み合わせられて、保障内容が設定されています。
 この他にも、様々な特約を付けることにより保障内容を充実させることができます。
 但し、保障内容を充実させればその分、支払う保険料も高額になりますので、
 ご自身のニーズ、環境に合った合理的な医療保険を上手に選びましょう。

今回は、人気の高い医療保障分野を取り上げてみました。
 実際にご自身のケースに置き換えて考えてみるとよいでしょう。
 生命保険の有利不利や損得勘定をすることは、なかなか難しいものです。
 具体的なご相談に応じますので、お気軽にお声をかけてみてください。



担当 齊藤 直哉